

**対象国の条件** :主に汚水対策（下水道整備）を実施中、もしくは実施予定の国

**研修コース番号** :201984795-J002

**案件番号** :201984795

**主分野課題** :環境管理/水質汚濁

**副分野課題** :都市開発・地域開発/都市開発

**使用言語** :英語

**案件概要**

途上国にて衛生環境改善や浸水被害の低減を図るためには、適切な汚水対策及び都市排水対策の計画立案・事業実施が必要である。本研修は汚水（主に下水道）対策及び都市排水（主に雨水排除）対策の計画から実施に関する講義、視察および演習を通じ、自国における課題に対する適切な手法を検討する。そして、汚水対策及び都市排水対策に関する基本計画（案）をアクションプランとして策定するものである。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

汚水対策及び都市排水対策に関する基本計画を立案するために必要な基本的知識が習得され、基本計画を策定するために必要となる手法とプロセスが検討できる。

**【成果】**

- 1.（事前活動） 自国の汚水対策及び都市排水対策の現状を把握し、課題を抽出する。
2. 汚水対策及び都市排水対策の講義・視察・ディスカッションを通じ、自国における課題に対する適切な手法が検討できる。
3. 汚水対策及び都市排水対策の計画策定から事業実施までの手法やプロセスについて説明できる。
4. 自国における汚水対策及び都市排水対策に関する基本計画（案）、住民参加手法を取り入れた意思決定プロセス（案）を検討し、課題と展望を含めたアクションプランを作成する。

**【対象組織】**

主に汚水対策（下水道整備）を実施中、もしくは実施予定の国の中央・地方地方政府、または公共機関

**【対象人材】**

1. 中央・地方政府または政府関係機関で下水道整備に従事する下水道政策策定およびその実施の技術的側面の中核を担う職員
2. 学歴：汚水対策・都市排水分野（土木工学等）での大学卒業または同等の学力を有すること。
3. 年齢：49歳以下が望ましい。

**内 容**

1. 事前活動 (1) カントリーレポート作成

2. 本邦研修

- (1) 汚水対策及び都市排水対策の自国での実施における適切な方法の理解
- (2) 日本の事業実施状況についての学習
- (3) 事業計画策定のための手順や個別技術の技術的側面に対する理解
- (4) 財政面の検討や維持管理手法の理解
- (5) 事業実施体制の検討、住民への啓発活動、安価な技術の紹介等
- (6) アクションプラン作成

3. 事後活動

- (1) 所属組織におけるアクションプランの共有と検討

※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創 (Knowledge Co-creation)」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。

**本邦研修期間**

2019/10～2019/10

**担当課題部**

地球環境部

**所管国内機関**

JICA東京（経済環境）

**関係省庁**

国土交通省（建設）

**実施年度**

2019～2021

**主要協力機関**

調整中

**特記事項  
及び  
ホームページ**